

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市児島障がい者支援センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖 180 番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>今年度は、「コロナ禍での施設運営について」を重視して評価した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用者数は減少しているが、面談や電話、訪問による利用者の生活支援を積極的に行い、相談支援件数は増加した。</p> <p>利用者へのマスク着用の徹底の呼びかけ・検温実施や、定期的な館内の換気・消毒など、感染症対策を十分に施した上で施設運営を行ったことは評価できる。</p>	総合評価
		A
(2) 指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を行い、利用者の安全を守りながら、サロン活動や相談支援事業を実施することを重視して評価を行った。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策について、保健師を中心に、利用者への対応、環境設定、消毒作業の実施、職員の健康管理や感染症予防研修を実施した。また、定例会等での感染対策の講話、日々の来所時対応を通して、利用者への感染予防対策の啓発を行った。 ・サロン活動については、飲食を伴う行事、カラオケ、大人数となる行事は実施を見合わせた。それ以外の行事については、感染症予防対策を実施し、できるだけ多くの利用者が参加できるよう工夫を行った。 ・サロン来所時に検温をするため、利用者に関わる機会が増えたことで、相談につながるケースが増加した。 ・相談支援事業については、障がい者（児）及びその家族等が住み慣れた地域の中で生活していけるよう、面談や電話また訪問等により行い、障がい者等の生活支援を行った。新型コロナ 	

	<p>ウイルス感染症の影響で、施設利用者人数は減少したが、相談件数は増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険へ移行する利用者が年々増えており、高齢者支援センターやケアマネージャーと連携が図れるよう「障がい福祉サービスから介護保険への移行」について、出前講座を行った。 ・倉敷地域自立支援協議会の各部会活動への参加、基幹相談支援センター訪問型 OJT を受け、職員の資質・支援能力の向上及び知識の習得を図ることができた。WEB 会議設備を早期に整え、オンライン研修に参加した。また、月 2 回行うセンター内スタッフ会議の中で勉強会を実施し、制度の理解やケース検討を行い、相談支援のスキルアップを目指した。 ・大学からの精神保健福祉士実習生を 2 名受け入れ、将来の福祉の担い手育成にも取り組んだ。
(3) アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営に係る事業内容や職員の対応について、90%以上の利用者から、満足又はほぼ満足の回答が得られた。 ・アンケート結果については、別紙のとおり。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績		今年度	前年度	特記事項（前年比）	
	施設利用者	14,849 人	15,637 人	95%	
	相談支援	面接相談	4,575 件	3,884 件	117%
		電話相談	8,162 件	8,363 件	97%
		家庭訪問	673 件	517 件	130%
ケース調整会議	125 件	157 件	79%		
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活支援：わくわくハンドメイド、ニュースポーツ、卓球サークル、囲碁・将棋サークル等 ・在宅福祉サービスの利用援助 ・相談・情報提供 ・特定相談支援事業及び障害児相談支援事業 ・地域交流、啓発活動（出前講座を含む） ・ボランティア（くらしき♡心ほっとサポーター）、精神保健福祉士実習生の受け入れ 				

4 収支（児島）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 37,930千円	
	市からの指定管理料（委託料）	35,630千円
	利用料金	2,144千円
	その他の収入	156千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 38,413千円	
	主な支出	
	人件費	27,457千円
	光熱水費	1,604千円
	修繕料	175千円
	消耗品費	573千円
	施設管理委託費	917千円
その他経費	7,687千円	